

制作条件

設置環境に関する条件

作品展、パフォーマンスイベント、ワークショップ等開催を定めて実施するものや、コアポカンヴァス部門で実施可能な実施場所を指定しているものを除き、期間や開催形態は自由な状態を希望するものとします。(作品の完成または展示開始前、作者と主催者及び会場管理者の間で事前協議により決定します。)  
 パフォーマンスイベント、ワークショップ等は平成23年3月までに実施していただく予定です。開催時期は主催者と協賛の両方の都合を協議します。  
 作品は、現在期 制作費、費用として直古し、現物制作するものとします。(展示や期間中に発生する費用を制作費に含んで見積もってください)  
 作品の展示や制作費が平成22年度中に完了しない場合は、主催者はその費用を負担できなくなる場合がありますのでご了承ください。  
 (過去・現状展示の経緯については、作者と主催者及び作品設置場所の管理者と事前協議により協議をお願いします。)

制作予算

制作費にあたっては、必要な制作費を、300万円を上限とし、主催者から協賛の両方から調達をお願いします。  
 協賛の制作費や制作費に、必要な材料費と送料を納入に際し経費見込みを添付してください。  
 ただし、制作費の一部は協賛の協賛金、制作費が協賛費とする制作費は主催者による協賛金とみなす場合があります。  
 また、輸送費、定額の輸送・土居費、作業員や作業車等の運賃負担に際し経費、搬送費も上げ、負担額が必要となる場合、制作費に追加して見積もりに含んでいただくようお願いいたします。  
 なお、下掲の協賛金は協賛金と区別しないので、ご注意ください。  
 ■人件費、旅費、運送費、運賃、搬送費、送料等

協賛金の受領金は、作者と主催者及び作品設置場所の協賛金の関係により個別に決定します(税引率や印紙が必ず制作費として承認されるものではありません)。なお、協賛金は必ず領収書発行をお願いします。それ以外の予算で制作費が承認される場合は、自己負担で追加するようにしてください。  
 必要経費は制作費プランや説明書用紙の提出をお願いする場合があります。  
 なお、作品完成後であっても、社会情勢等による変更など発生を必ず念ずる場合があります。

制作時の取組条件

制作費や制作費のストックアップ、搬入・搬出の荷役など現場責任は主催者、作者と主催者及び作品設置場所の協賛により協議をお願いします。

著作権所有権の取り扱い

すべての作品は、著作権者(パフォーマンスイベント)は作者が権利をもち、主催者及び作品設置場所の協賛は、制作費や制作費の提供として、なお主催者から協賛金を受領する目的のため、著作権者の権利を侵害することなく開催が可能です。ただし、作品の所有権は、リアルタイムイベントなど、作品設置場所から取り除けないものについては、作品設置場所の協賛者に帰属します。彫刻等、作品設置場所から取り除くことが困難なものは、権利として作者に帰属するものとします。  
 ただし、作者と主催者及び作品設置場所の協賛者との協議により、作品設置場所の協賛者に帰属する場合があります。

作品の維持補修に関する条件

日常の維持・補修は、原則として主催者または作品設置場所の協賛者が行いますが、何かしらの理由でその協賛者が実施できない場合は、作者が維持の責任を負うこととします。

応募方法

応募資格

当宣言の主旨を理解し、選考された際には作品の完成まで取り組める方(個人・グループを問いません)

応募可能提案数

1名・グループにつき5提案まで。  
 (1作品につき1提案とさせていただきます。)  
 [パフォーマンス部門] [コアポカンヴァス部門] 両部門に同時に応募いたしても結構です

提出物

F10の内容をA3サイズ以内、かつ合計10枚以内で提出し、かつCD-Rで提出してください。  
 (ファイル・フォーマットはPDF形式で提出してください)

1 所定の応募用紙  
 (必ずおさかカンヴァス推進事業の公式WEBサイトからダウンロード)

2 作品プラン  
 企画(展示は無料)の場所(近所、白河、作品設置の状況)と、制作費の算出、制作費の明細、作品名、作品コンセプト、作品プランと展示内容(ドローイング等)、制作費、送料、制作スケジュール等  
 (パフォーマンスなど複数で提出できるプランについては、内容がわかる程度(10分以内)を添付してください)

3 必要な制作材料等の内容と経費見込み、必要な支援人員、等  
 (必要経費や制作費の明細と経費見込みについては、(別紙制作)の項目を添付してください)

4 経歴書・過去作品事例などの参考資料  
 (必ず添付してください)

5.上記の全てを電子データで記録したCD-ROM等  
 PDF、JPEG、MS WORD、MS EXCEL、MS PowerPoint、WWW、MP3、AVI、その他適切な形式で記録したCD-ROMまたはDVD-ROM

※提出物の詳細は、お問い合わせください。

応募に関する質問の受付と回答

期間：平成22年6月6日(月)～6月28日(月)  
 メールアドレス：buika@buika.pref.osaka.lg.jp  
 FAX番号：06-6944-6647

内容は、おさかカンヴァス推進事業の公式WEBサイトで7月3日(金)までに掲載します。  
 ■質問の件数に応じた回答にお答えできません。質問の件数に制限はありませんので、ご了承ください。  
 ■質問の件数はおさかカンヴァス推進事業の公式WEBサイトからダウンロードしてください。  
 ■コアポカンヴァス部門で応募されている場合は、協賛者との事前協議をお願いします。

〒540-8570  
 大阪府 府民文化部 都市魅力創造局 文化課  
 おおさかカンヴァス推進事業推進室  
 ■必要経費は、定額のみとします

大阪のまちをカンヴァスに!  
 アーティストの自由な発想と感性、創作意欲を大阪で実現

Osaka Canvas Project

<http://www.osaka-canvas.jp/>

この事業の主旨に沿った作品発表場所のご提供や、制作費、協賛金などのご寄付もお待ちしておりますので、ご協力を御願いたします。

<http://www.osaka-canvas.jp/>

応募要領・提出要領は必ずおさかカンヴァス推進事業の公式WEBサイトからダウンロードしてください。

このプロジェクトは、協賛者から提供された資金によって行われており、収入と支出のバランスがとれるように努めます。



おおさかカンヴァス推進事業

2010年6月7日(月)→7月12日(月) 2010年11月→2011年3月

# おおさかカンヴァス推進事業

## 大阪のまちをカンヴァスに！ アーティストの自由な発想と感性、創作意欲を大阪で実現

**事業目的** この事業は、「大阪文化振興新戦略」に基づき、「『大阪の街を使いこなす』～都市全体を発表の場に！」と「『市民の思いを都市づくりに活かす』～市民協働のプラットフォーム」の二つの戦略のもと、大阪のまち全体を若手アーティスト等の発表の場として活用し、大阪の新たな都市魅力を創造・発信しようとするものです。  
公共空間とアートのコラボレーションによって、都市や地域の新たな魅力を発見・発信することと、アーティストが、アイデアと想いを実現できる機会を得ることを目的とします。（この場合の公共空間とは、不特定多数の人の目に触れる場所とします）

**募集内容** 大阪のまち全体をアーティストの発表の場として「カンヴァス」に見立て、アーティストが制作したい作品と場所についてアイデアを募集、集まったアイデアの中から10作品程度を選考して作品を発表していただきます。  
絵画（ペインティング）だけでなく、彫刻やオブジェ、パフォーマンス、イベント、プロジェクト、ワークショップなど、あらゆる分野のアート作品を対象とします。

発表したい「場所」と「作品」の両方を提案していただく【フリーカンヴァス部門】と、主催者が紹介する「場所」や「事業」に対して「作品」を提案していただく【コラボカンヴァス部門】があります。ただし、営利を主目的とするなど、本事業の目的に沿わない提案はご遠慮下さい。

**スケジュール**

応募受付	平成22年6月7日(月)～平成22年7月12日(月) 必着
審査結果発表	平成22年8月下旬 ※おおさかカンヴァス推進事業の公式WEBサイトで発表するとともに、応募者へ通知します。
作品制作説明会	平成22年10月頃
作品制作・発表	平成22年11月頃から平成23年3月までの間で2ヶ月間程度（作品により異なります）

**審査について**

主な審査基準

1. この事業の目的に沿った大阪の都市、または地域の魅力発掘・発信度
2. アイデアの斬新さ
3. 実現へのリアリティ など

### 審査委員

**建島 智** (たてはま・あきら)  
国立国際美術館館長  
1947年、京都生まれ。多摩美術大学教授を経て、2005年から現職。90年、93年にヴェネチア・ビエンナーレ日本館コミッション、横浜トリエンナーレ2001のアーティスティック・ディレクター。今年、あいちトリエンナーレ2010芸術監督を務める。詩人、美術評論家としても活躍中。「余白のランナー」(歴史新報賞)、『零度の犬』(高見順賞)などの詩集のほか、多数の著書がある。

**谷口 純弘** (たにぐち・よしひろ)  
FM802プロデューサー  
1963年、京都生まれ。大阪のラジオ局FM802のアートプロジェクト「digmeout」プロデューサー。「ヤングアート、大阪から世界へ」をテーマに、若手アーティストを起用した企業プロモーション、ギャラリー運営、海外での展覧会などアートを通じて人と街をつなぐ仕事をしている。

**ヤノベケンジ**  
ウルトラファクトリー・ディレクター  
(京都市立芸術大学教授)/現代美術作家  
1965年、大阪生まれ。97年より現職。事故後のチェルノブイリを訪問する「アトムスーツ・プロジェクト」等にて、社会的メッセージをこめる作品を制作し続けている。2005年「ジャイアントらやん」、2009年には大阪を舞台にした「永遠大阪2009」にて新作「ラッキードラゴン」を発表し、火を喰く大型機械彫刻作品を次々と生み出す。現在は自身の作家活動に加え、ウルトラファクトリー・ディレクターとして次世代の才能を育てる活動を積極的に展開している。

**忽那 裕樹** (くつな・ひろき)  
ランドスケープ・デザイナー  
1956年、大阪生まれ。ランドスケープ・デザイン及びまちづくりを国の内外を問わず実践。主なプロジェクトに、千里リハビリテーション病院（グッドデザイン賞・医療福祉建築賞）、近畿大学・洗心の館（建築学会賞助賞）、中国・成都未来広場など。現在、NIE-DESIGN 代表取締役、NPO法人パブリックスタイル研究所理事長、ウェブマガジン OSOTO 編集長を務める。著書「マジヒステリック・ランドスケープ・獲得される場所をめざして」(共著)など。

## 01 フリーカンヴァス部門

発表したい「場所」と「作品」の両方を提案していただくものです。  
平面・立体・映像・パフォーマンス・イベント・プロジェクト・ワークショップ等、作品ジャンルは問いません。

**注意事項**

- ・作品プラン提出時には、作品展示（またはイベント等の発表）を希望する場所の管理者等の許可を事前に得ておく必要はありません。作品の選考過程において、作者と主催者及び作品発表場所管理者が必要に応じて協議します。
- ・作品制作・展示・発表に関する地域の人々の協力や参加については、作品の選考過程において、作者と主催者が協議して調整を行う可能性があります。
- ・作品の展示または発表にあたっては、鑑賞者や通行者の安全確保を最優先し、作者が責任を持って搬入・制作・展示・搬出することとします。また、安全確保のための主催者及び展示・発表場所の管理者の指示に従っていただきます。
- ・何らかの権利を有する場所において展示・発表する場合は、展示期間中、その本来の機能を維持させてください。



制作例「大阪の街を使いこなす」トリアンナーレ2001  
場所：あいちトリエンナーレ2010  
制作：あきら、谷口純弘、ヤノベケンジ、忽那裕樹



制作例「大阪の街を使いこなす」トリアンナーレ2001  
場所：あいちトリエンナーレ2010  
制作：あきら、谷口純弘、ヤノベケンジ、忽那裕樹

## 02 コラボカンヴァス部門

主催者や作品発表可能場所管理者等が提案する候補地や事業に対して「作品やデザイン」を応募いただくものです。

候補地や事業により、作品ジャンルの指定やテーマが設けられている場合があります。  
候補地や対象事業は随時追加されますので、公式WEBサイトで最新の情報をご確認ください。

現在、募集を予定している候補地や事業

1. 電気自動車（EV）タクシーの車体のラッピング・デザイン等  
今年度、大阪府域を走行するEVタクシー50台に共通デザインのラッピングを施します。  
詳細は、6月下旬にWEBサイトで発表しますので、ご確認ください。
2. 木津川ウォールペインティング2010  
昨年度、木津川の千代崎から道頓堀川合流点までの河川で実施した護岸へのウォールペインティングを、今年度はさらに上流へ延伸して実施します。詳細は秋頃にWEBサイトで発表しますので、ご確認ください。
3. 大阪府庁舎  
本館、別館、吹上庁舎、府民センタービル、府税事務所 等
4. 関西国際空港（現在調整中）
5. 道路・公園・河川等でのアート・プロジェクト（各所と調整中）
6. アートイベントで実施するプロジェクトへの参加アーティスト募集

**注意事項**

- ・作品制作・展示・発表に関する、地域の人々の協力や参加については、作品の選考過程において、作者と主催者が協議して調整を行う可能性があります。
- ・作品の展示または発表にあたっては、鑑賞者や通行者の安全確保を最優先し、作者が責任を持って搬入・制作・展示・搬出することとします。また、安全確保のための主催者及び展示・発表場所の管理者の指示に従っていただきます。
- ・何らかの権利を有する場所において展示・発表する場合は、展示期間中、その本来の機能を維持させてください。
- ・その他、おおさかカンヴァス推進事業の公式WEBサイトで、それぞれの候補地や事業の紹介ページをご確認ください。



制作例「木津川ウォールペインティング2010」



制作例「フェリスフェスティバル」(あいちトリエンナーレ2010)  
場所：あいちトリエンナーレ2010  
制作：あきら、谷口純弘、ヤノベケンジ、忽那裕樹